

特集

令和3年度 当初予算審査

令和3年第1回定例会では、令和3年度の当初予算について審査を行いました。

執行部提出の予算案は、一般会計予算 284 億 6,300 万円をはじめとする6会計 469 億 8,753 万 1 千円です。うち、一般会計予算については、予算常任委員会では否決されましたが、本会議において修正案が可決されました。

この結果、令和3年度の一般会計予算の総額は 280 億 1,095 万 3 千円となりました。

本号では、議会における議論の内容、及び予算常任委員会での審議についてご紹介します。

修正を行った3つの事業

一般会計予算案に対し、議会で可決した修正案は、3つの事業について事業予算を減額するものです。修正を行った事業と主な議論をまとめました。

修正案の提案理由から

新型コロナウイルス感染症の広がりが収まるところがなく、日々市民の不安は募るばかりである。そのような中、税収も落ち込み、市債は増え続けている。このような中では不要不急の事業は慎重に行うべきであり、エスカード牛久ビルの改築予算や北部地域の開発計画は先送りすべき。また、教育委員会の公益財団法人設立の正当性が理解できない。

エスカード牛久ビル内の
公共施設整備
(4 億 3,400 万円)

エスカード牛久ビル4階に集客力、多世代交流、学生等の利用促進を促し、多くの方々に利用される公共施設の整備を進めるための整備費用（令和3年度から4年度の2カ年での事業費合計 11 億円）



北部地域の宅地開発検討
(1,939 万 9 千円)

北部地域における宅地需要に応えるため、市街化調整区域で民間活力を活用した方式での宅地開発の手法を検討するための調査等の費用



教育行政振興に向けた
公益財団法人の設立
(316 万 2 千円)

多様化する教育行政のニーズに対応しつつ、公益性と収益性を両立させる手法として、特に社会教育分野の公共サービス実施機関となる財団法人を設立するための費用



本会議での討論から

事業の緊急性をどのように検証したのか疑念を抱かざるを得ない。税収の落ち込みもあり、苦しい台所事情となる中で、3つの事業について緊急性はあるのか、今取り組むべきものなのかについて、市民の理解と納得は得られない。

エスカード牛久ビルでの公共施設整備については、その内容に市民の声が活かされているとは言えず、今もって計画が公表されてもいない中で進めるのは疑問である。また、北部開発は局所的な人口増加をもたらすが、それに伴う公共サービス費用の増大は税金で賄われるものであることから、投資的な経費については慎重に対応すべき。

新型コロナウイルス感染症対策を進めることはもちろん大切。しかし、コロナ禍の終息後も考えなければならない。北部開発は首都圏から牛久市への移住のニーズがある今こそ進めるべき。計画的整備を棚上げすることで、後年度に負担を送るのではなく、計画的に進めることが全体としてコスト削減となり、市民サービスの向上にもつながるのではないか。

3つの事業の実施は市民の切実なる願いではない。最優先すべきは新型コロナウイルス感染症対策である。現在のコロナ禍が落ち着いてからでも良い。

牛久市は駅を中心に発展してきた事実がある。エスカード牛久ビルの実施設計等の計画策定についてはこれまでもしっかりと手順を踏んできている。このようなプロジェクトに反対する理由が分からない。エスカード牛久ビルの空洞化をいつまでもこのままにしておくわけにはいかない。行政は 20 年・30 年後を見据えた対策が必要。

予算常任委員会

議会では、予算の審査を行うため、10人の委員で構成される予算常任委員会を設置し、審査を行いました。審査は3月18日、22日、23日の3日間行われました。

審査の結果、下表のとおり決定しました。また、牛久シャトーやエスカード牛久ビルに関する事業及び財政全般についてを調査事項とし、予算常任委員会の閉会中の継続調査とすることを決定しました。

審査案件（審査を行った予算の種類）	審査結果
令和3年度牛久市一般会計予算	賛成少数により否決
令和3年度牛久市国民健康保険事業特別会計予算	全会一致により可決
令和3年度牛久市青果市場事業特別会計予算	全会一致により可決
令和3年度牛久市介護保険事業特別会計予算	賛成多数により可決
令和3年度牛久市後期高齢者医療事業特別会計予算	全会一致により可決
令和3年度牛久市下水道事業会計予算	全会一致により可決

ここからは、予算常任委員会での審査の状況をお知らせします。なお、予算常任委員会では引き続き年間を通じて予算に係る議案（補正予算等）の審査を行うこととなります。

予算常任委員会審査スケジュール

月 日	審 議 内 容
3月18日（木）	・ 現地視察（住井すゑ文学館、市営猪子住宅） ・ 一般会計歳入歳出予算審査（市長公室、経営企画部、総務部、市民部等）
3月22日（月）	・ 一般会計歳入歳出予算審査（教育委員会、保健福祉部）
3月23日（火）	・ 一般会計歳入歳出予算審査（環境経済部等、建設部） ・ 特別会計等歳入歳出予算審査（保健福祉部、環境経済部、建設部）

予算常任委員会委員

- ・ 委 員 長 須 藤 京 子
- ・ 副委員長 鈴 木 勝 利
- ・ 委 員 利根川 英 雄 遠 藤 憲 子
- 市 川 圭 一 秋 山 泉
- 諸 橋 太一郎 山 本 伸 子
- 長 田 麻 美 伊 藤 裕 一



予算常任委員会での審査に先立ち、令和3年度事業の中から選定した事業に係る現地視察を3月18日に行いました。今回は住井すゑ文学館と市営猪子住宅を視察しました。

住井すゑ文学館



平成29年度に寄贈された旧住井すゑ邸について、関連資料等を公開活用する展示室を備えた文学館として令和2年度までに整備を行いました。令和3年秋のオープンに向けて準備が進められています。周辺の文化遺産を活用することで観光客誘致を図り、地域活性化を進めていくことが期待されます。

市営猪子住宅



老朽化した市営住宅（猪子住宅）を解体し、新たに市営住宅の建設及び敷地内ライフラインの整備を行い、市営住宅の集約化を図ります。新たな市営住宅の整備は令和3年度から9年度までを計画しており、令和3年度は市営住宅2棟の建設が行われます。

次ページでは、予算常任委員会での質疑の状況をお知らせします。
市の事業は多岐にわたることから、主な質疑について、テーマごとに分けてご紹介します。

予算常任委員会における主な質疑

エスカード牛久ビル内の公共施設整備
(4億3,400万円)

問

エスカード牛久ビル4階に公共施設を整備する背景と整備にあたって進められている1階にある市所有床と4階地権者が共有で所有する床の交換の状況は。

答

4階に施設整備をすることは、既にエスカード生涯学習センターなどの公共施設が整備されており、一体的な活用ができることから整備するものである。床の交換は等価となる交換を基本として交渉を進めているが、地権者全員の同意には至っていない。

コミュニティバス
(7,849万6千円)

問

コミュニティバス「かっぱ号」の今後の事業の方向性は？

答

新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用者の回復を目指して事業展開する。また、店舗への路線図及び時刻表やチラシの配布などの取り組みを拡大することも検討していく。

防災無線
(1億817万9千円)

問

5年間の事業計画のうち、令和3年度の事業内容は？

答

市役所にある親機の設備のデジタル化、及びエスカード牛久ビルに新設予定の中継設備の設置を行う予定。詳細については、現在実施設計を行う中で調査検討をしているところである。

おくの義務教育学校
(7,612万8千円)

問

おくの義務教育学校における一体型校舎の建設は？

答

令和7年度の校舎供用開始に向けて、令和3年度は基本設計を行うための予算を計上している。余裕のある空間づくり、異学年交流のできる空間の確保など、機能性の向上が必要であるため、南校舎のリノベーションによる整備を予定している。

教育行政振興に向けた公益財団法人の設立
(316万2千円)

問

事業内容と今後の考え方は。

答

人口減少社会への対応として、公共施設の運営において、民間のノウハウを活用し、コストを削減し、サービスを維持することを考えている。事業内容は、スポーツ振興、文化芸術振興関係の事業、児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業であり、児童クラブ運営の支援事業を公益財団法人としてできないか考えている。

予防接種
(2億2,123万1千円)

問

こどものインフルエンザ予防接種に対する補助の内容は？

答

これまで補助対象としていなかったが、6カ月から6歳までの未就学児は重症化予防の観点から全額補助とし、中学校3年生・高校3年生は受験に備えほとんどの生徒が接種している状況から1回につき1,000円の一部補助とする。

新型コロナウイルス感染症対策
(4億1,077万7千円)

問

「コロナうつ」の方が増えているということであるが、対応は？また令和3年度における新型コロナウイルス感染症対策は、何を重点的に行うのか？

答

「コロナうつ」増加への対応として、市の精神保健福祉士が常時相談できる体制を整えている。また令和3年度においては新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を重点的に行う。

北部地域の宅地開発
(1,939万9千円)

問

北部地域の宅地開発について、開発により人口を増やす計画の是非についての考え方は。

答

ひたち野地区に関心があるにもかかわらず、宅地供給ができないために将来的にも有効な土地利用ができない事態を避けたい。牛久市の将来計画人口を85,000人に設定していることから宅地開発などの人口増加策が必要であり、ひたち野地区に注目を集めることにより、牛久駅周辺にも注目が集まるとともに活性化にもつながると考えている。